

MESSAGE TO THE avex BEAT 鼓動を揺さぶるメッセージ

エイベックスに関わる方々から、エイベックスのCSRに期待することを語っていただきました。

エイベックスには、

違法配信根絶の啓蒙活動にご協力いただいています。

特に **中高生の職場訪問において積極的に展開され、当協会会員社の中でも最大規模の受け入れ**を行っていただいています。

今後もその先頭に立っていただき、様々な場面でご指導・ご協力をいただきたいと思います。

一般社団法人日本レコード協会 常務理事・事務局長

高杉 健二様

子どもたちの社会性や人間性を育む職場体験ですが、最近では修学旅行先で実施する学校が増えつつあります。エイベックスでは、ミニライヴやスタジオ見学など、子どもたちに興味・関心・親しみのある体験型プログラムを実施しています。

職場体験を通して、子どもたちが働くことの意義や価値を感じ、キャリア形成の一助となることを期待しています。

財団法人日本修学旅行協会事務局長
野口 正太郎様



エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社
総務人事本部 コーポレート広報課

〒107-8577 東京都港区南青山3-1-30
TEL.03-5413-8508
http://www.avex.co.jp/

青山通り沿道では、地域をあげて美しい街並みづくりに取り組んでいます。その中で、地域のシンボルとも言える本ビル前の広場については、緑化活動や市民の交流・創造の場として継続的にご提供いただいております。

一帯の住民や学校・企業はもちろん、来街者や行政機関など多くの方々に歓迎されています。

今後もエイベックスの地域貢献活動に期待します。

NPO法人 青山
景観整備推進(SA)E理事長
青山学院大学教授
井口 典夫様

エイベックス社員向けの、ライフデザイン研修の講師を担当しています。「仕事を楽しみ、自分自身の人生をプロデュースする」。エイベックスを舞台にエネルギーに輝く人々を生み出すことで、個々の社員の働きがいに留まらず、

「働く」ことの本当の意味
— 自分の人生をクリエイトすること—
を社会に示してほしいと思います。

ライフ・ポートフォリオ 代表
前原 はづき様



BEAT



CSR REPORT 2012
2011年4月1日～2012年3月31日

BEAT OF avex SPIRIT

鼓動の源

めまぐるしく変化する社会の中で、
私たちは総合エンタテインメント企業として何ができるのだろうか、
常に考え続けてきました。

寄付やボランティアといった活動は、
エイベックス・グループとしても日常的に行っています。
でも、それは企業として当たり前のことだと思っています。

私たちの本業は、人々に感動を与えること。
共感を起し、希望を与え、生きる喜び、そして未来への夢を与えること。
誤解を恐れずに言えば、事業そのものがCSRなのかもしれません。

そのためには、エンタテインメントを創り出す人々の環境を整えること。
つまり、社員一人ひとりがいきいきと働けるエイベックスであり続けること。
それもCSRだといえるはずです。

私たちが持つすべてのノウハウを生かし、
人の感情を揺さぶる、
エイベックスのエンタテインメントにしかできない
CSRを追求していきます。

いつの時代も、
一人ひとりに寄り添う、
エンタテインメントを。



東日本大震災への対応

『a-nation』による復興支援

2002年よりスタートし、10周年を迎えた野外フェスティバル、『a-nation』。2011年度は、7月30日～8月28日にかけて全国5ヶ所で「a-nation 10th Anniversary for Life Charge & Go! ウィダーinゼリー」を開催しました。エンタテインメントを通じて、人々に生きる勇気やパワー、感動、優しさ、愛を届けたいという想いから、人生への彩り＝“for life”を大きなテーマに掲げ、以下のような復興支援策を行いました。



1 節電対策と啓蒙活動

各会場に電源車を用意し、全公演のステージ演出の電力を全て自給しました(1公演約1500kW)。また、ステージ照明の一部にLEDを使用し、節電に取り組みました。ほかにも、お客様にエアロバイクを利用した人力発電を体験していただくなど、節電意識を高める啓蒙活動も実施しました。



ステージ電力をまかなう電源車。

2 チケット収益の一部を寄付

チケット1枚につき200円(チケット購入金から100円、当社グループから100円)を、日本赤十字社に寄付しました(約5,400万円)。

行列となったチケット売場。



3 オフィシャルグッズとチャリティオークションの収益を寄付

オフィシャルグッズの収益の一部を寄付したほか、出演アーティストのステージ衣装などのチャリティオークションを実施し、落札金額を日本赤十字社に寄付しました(合計約400万円)。



4 無料パブリック・ビューイングを実施

岩手県・宮城県・福島県のイトーヨーカドー6店舗などで、ライブ映像を無料で見られるパブリック・ビューイングを実施しました。延べ13,000人以上の方にライブをお楽しみいただきました。会場では、アーティストのコメントに対し、お客様が画面に向かって手を振ったり、拍手がわいたりするなど、本会場と一体となったように感じられました。



会場の様子。

各店舗の動員延べ人数

実施店舗	8/27(土)	8/28(日)	合計
仙台泉	1,400	2,000	3,400
郡山	1,000	2,100	3,100
石巻あけぼの	900	1,700	2,600
花巻	600	1,000	1,600
平	600	1,100	1,700
福島	300	400	700
合計	4,800	8,300	13,100



VOICE

震災後すぐに、アーティスト単体だけではなく、グループ企業だからこそできる支援活動は何かと考えました。その結果、マネジメントとレーベルの両機能を持つエイベックス・グループだからこそできること、さらに『a-nation』を軸に、ゲストアーティストやアライアンス企業を巻き込んだ支援活動の構築を目指して活動を行いました。『a-nation』は今後も常に進化を遂げ、リアル空間だけでなくデジタル空間と両軸での感動価値をお届けします。

エイベックス・ライブ・クリエイティブ株式会社
コンテンツ事業本部 ビジネスプランニング部
加藤 喜一郎

社内での取り組み (一部)

本社ビルの節電対策

当社の本社ビルは、経済産業省が指定する大口需要家(500kW以上)のビルに該当することから、前年ピーク時の使用量に対し、15%以上の電力を節電する必要があったため、以下の取り組みを行いました。

- 照明管球の間引き設置
- ハロゲン照明のLED化
- 屋外広告看板の一定期間における運用停止
- 空調機器の温度制御運転
- 共用部エレベーターの制御運転

支援・相談窓口の設置

当社グループでは、重大な災害時には支援・相談の窓口を設置し、社員およびその家族のサポートを行っています。東日本大震災時には、社員および家族の安否確認、被災状況のヒアリングを実施し、社員の家族・親族が所有する家屋に損害があった場合や避難所生活をされた場合には、見舞金を支給しました。

防災バッグの配布

当社グループでは、緊急時に必要とされる防災備品(非常時の食料、飲料水、その他携帯ラジオなど)を取めた防災バッグを全社員に配布しています。

災害メールの登録を促進

当社グループでは、緊急災害時の際に各自が登録したメールアドレス宛に会社からの情報メールを配信し、社員の安全を確保しています。

12年継続

中学生向け職場訪問「エイベックスへ行こう！ ～勉強が遊びで遊びが勉強～」を実施



当社グループでは、中高生の職場訪問を積極的に受け入れています。事業内容の紹介、音楽に関わる権利の説明、また当社グループ所属アーティストによるミニライブやスタジオ見学など、体験型プログラムも取り入れています。2011年度は2,522名の中高生が来社。震災の影響によるキャンセル校を含めると4,629名という過去最多訪問者数を予定していました。今後も、次世代を担う学生の皆さんに向け、音楽やエンタテインメントの魅力を発信するとともに、「職業としてのエンタテインメント」の魅力も伝えられるよう、本プログラムのさらなる進化を目指します。

VOICE

「エンタテインメントを通じて、笑顔を創りたい」という思いのもと、学校教育への側面的サポートを行っています。また、プログラム内では、アーティストが学生時代に何を考え、どのように努力してきたのかなどを直接学生の皆さんに語ってもらいます。この体験が、参加された皆様の将来の夢のきっかけやヒントになれば幸いです。今後も意欲的に本プログラムを進めていきます。

エイベックスグループ・ホールディングス株式会社
総務人事本部 コーポレート広報課
渡辺 明日夏



3年継続

発展途上国にワクチンを寄付

当社グループでは、社員の社会貢献、環境保全意識向上を促進するため、エコキャップ収集活動を行っています。活動にはアーティストも参加し、2011年度は78,840個を収集しました。収集されたペットボトルのキャップは約99人分のポリオワクチン*1購入費用となり、認定NPO法人JCV**2より発展途上国の子どもたちに届けられました。

※1 キャップ800個(20円分)でポリオ(小児マヒ)ワクチン1人分に換算。
※2 「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」世界の子どもたちを感染症から守るため、ワクチンおよび予防接種関連物資を送る活動を行っている。

NEW!

自社ビルのカーボンオフセットを実施

当社グループでは、オフィスなどから排出されるCO₂を相殺(オフセット)するため、CO₂排出権を購入しています。本社ビルのCO₂年間排出量は約1,907tとなり、当社グループで所有する5,000tの排出権にて、CO₂をオフセットしていきます。

9年継続

「aoyama christmas circus」を開催

情報・流行の最先端である青山通りをクリスマスシーズンの名所にすることを目指したイベント「aoyama christmas circus」を、地域の皆様とともに開催しました(2011年11月18日～12月25日)。本社ビル前に設置された地上約20m、直径約6mのツリーの電飾はすべてLED照明を使用し、イベント期間中における消費電力は3.8kWh*となりました。今後も環境に配慮しながら地域の皆様と連携し、心温まる“クリスマスエンタテインメント”を届けていきたいと思ひます。

※3.8kWhは、100Wの電球約38個を1時間灯したのと同じ電力量。



11月18日の点灯式には、アイドルグループ「SUPER☆GIRLS」らが参加。

NEW!

「ワークライフフュージョン推進プロジェクト」を推進

当社グループでは、ワーク・ライフ・バランス推進のため、人事部内に「ワークライフフュージョン推進プロジェクト」を立ち上げました。人事部内の女性社員が中心となり、育児・介護と仕事を両立している社員に対する現状課題把握のためのヒアリングや、女性社員向けのライフデザイン研修などを行っています。エンタテインメントを創出する優れた人財を確保し、意欲的に業務に取り組んでもらうために、仕事と生活の間にコンフリクトがない状態を目指し、今後も「ワークライフ」に夢を持てる職場環境づくりを推進します。

7年継続

コンプライアンス推進活動

当社グループは、独自のコンプライアンスポリシーに則り、四半期に一回、コンプライアンス委員会を実施しています。委員会では、コンプライアンス上の重要な問題を審議するほか、ヘルプラインを設置し、非コンプライアンス事案の早期発見・解決に努めています。また年に一度、全社員にコンプライアンスポリシー確認テストを実施、2011年には「東京都暴力団排除条例」の制定に先立ち外部講師を招いて研修会を行うなど、社員への周知徹底に努めています。

VOICE

「障がい者スポーツ」を理解し、ここまで手厚くベストな環境でチャレンジさせてくれる企業は、国内ではほとんどありません。私たちがアスリートは、この環境に感謝しながら日々トレーニングに励み、世界選手権やパラリンピックを目指し精進しています。

エイベックス・エンタテインメント株式会社
安 直樹



VOICE

単に仕事と生活のバランスを取るという発想ではなく、両者を“調和の取れた音楽のように融合する”という思いを込めて、“ワークライフフュージョン”という活動を展開しています。充実した仕事と生活の両立を応援するために、環境整備や意識啓蒙に取り組みます。

エイベックスグループ・ホールディングス株式会社
総務人事チーム(ALC)
北村 尚子



2年継続

「AvexAid基金(AA基金)」の設立

当社グループは、相互扶助の精神に基づき、精神的にも経済的にもより安心して生活を送れるための支援組織を目指し、2010年10月1日に「AvexAid基金(AA基金)」を立ち上げました。加入者(社員、契約社員、特別契約社員)からの拠出金(毎月の給与から500円控除)と会社補助により、社員の慶弔関連、生活支援などの際に給付されます。

4年継続

障がい者スポーツ選手の雇用

当社グループでは、2008年から障がい者スポーツ選手を積極的に雇用しています。現在ではアルペンスキー、ノルディックスキー、車椅子バスケットボール、車椅子マラソン、車椅子テニス、陸上の6分野9名の選手が在籍しており、各選手の活躍を通じて笑顔や勇気を提供しています。選手には競技に専念できる環境を用意するとともに、現役引退後のセカンドキャリアについても環境整備を進めています。今後も選手の才能を発揮、表現する場を提供するべく障がい者雇用に取り組んでいきます。